

砂川高等学校令和5年度 教科 公民 科目現代社会 年間授業計画

教科：公民 科目：現代社会 単位数：2単位

対象学年組：第3学年1組～5組

教科担当者：(1組：井田) (2組：清水) (3組：峰岸) (4組：伊藤) (5組：忍田)

使用教科書：(高等学校 改訂版 現代社会 (第一学習社))

使用教材：(ライブ! 2023 公共、現代社会を考える (帝国書院))

	指導内容	科目現代社会 の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	個人と国家	国家三要素を把握させる。	定期考査を軸に、授業姿勢や提出物の状況なども含めて総合的に評価をする。特に年度導入の時期でもあるので、授業姿勢を重視する。	2
	民主政治	民主政治の成り立ちと概要を、理解させる。		2
5月	中間考査	法の支配の重要性を、人の支配との比較から理解させる。	定期考査を軸に、授業姿勢や提出物の状況なども含めて総合的に評価をする。特に年度導入の時期でもあるので、授業姿勢を重視する。	6
6月	世界の主な政治体制	議院内閣制と大統領制の仕組みと特徴を理解させる。	定期考査、授業姿勢、提出物などから総合的に評価する。特に人権に関する内容については、具体的事象との関連づけを重視する。	2
	日本国憲法の基本原理	日本国憲法の成り立ちをつかませる。日本国憲法の三大原理の内容を明治憲法との比較から理解させる。		4
	平和主義と安全保障	日本国憲法の平和主義の特徴について理解させるとともに、国防の観点から憲法9条の存在意義について考察させる。		4
7月	期末考査		定期考査、授業姿勢、提出物などから総合的に評価する。特に人権に関する内容については、具体的事象との関連づけを重視する。	2
	基本的人権の保障	基本的人権の重要性について理解させ、立憲主義の本質を捉えさせる。	2	
	新しい人権	新しい人権の台頭の意味を考えさせ、その保障の重要性を理解させる。		
8月				
9月	国民主権と議会制民主主義	国民主権の意味を理解させ、国会の果たす役割と、議会制民主主義の特徴を把握させる。	定期考査、授業姿勢、提出物などから総合的に評価する。制度理解だけでなく、制度の抱える諸問題に関する自身の考えについても問	6
10月	中間考査		定期考査、授業姿勢、提出物などから総合的に評価する。制度理解だけでなく、制度の抱える諸問題に関する自身の考えについても問う。	4
	内閣と行政の民主化	日本の議院内閣制の特徴を理解させる。また、行政の民主化という意味を理解させる。	4	
	裁判所と人権保障	裁判制度及び裁判員制度について理解させ、裁判所に求められる役割について考察させる。		
11月	地方自治と住民の福祉	地方自治の本旨をつかませると同時に、地方自治制度を、国の政治体制との比較や条例の具体例に触れながら理解させる。	定期考査、授業姿勢、提出物などから総合的に評価する。特に地方自治と選挙制度は、自身の生活との関連性を意識しているかを問いつける。	4
	世論形成と政治参加	選挙制度について理解させ、世論の形成過程と活用方法をつかませることで、主権者として必要な能力を身につけさせる。	4	
12月	期末考査		定期考査、授業姿勢、提出物などから総合的に評価する。特に地方自治と選挙制度は、自身の生活との関連性を意識しているかを問いつける。	4
	世論形成と政治参加	選挙制度について理解させ、世論の形成過程と活用方法をつかませることで、主権者として必要な能力を身につけさせる。		
1月	現代日本の諸課題	現代日本が抱える諸課題を、新聞やニュースなどを媒体として読み取らせ、これまでの授業内容と関連づけて考えさせる。解決策や改善案を、生徒自身に考えさせ、また他者の意見にふれた上で、まとめさせる	授業姿勢、提出物などから総合的に評価する。課題について考えようとする積極性や意欲・態度についても判断材料とする。	8
2月				
3月				